

科目分類	看護専門科目（母子看護学）	開講時期	1・2年 前期			
研究キーワード	小児看護・成長・発達・家族・発達理論・子どもの権利					
科目名	小児看護学特論					
英文	Advanced Study in Child Health Nursing					
選択／必修	選択	単位数（時間数）	2単位	30時間	授業形態	講義
担当教員	吉川 由希子					
メールアドレス	y-yoshikawa@tsuruga-nu.ac.jp	オフィスアワー	随時相談に応じます。事前にメールで連絡して下さい。			

授業目的	<p>小児の発達理論、関係発達理論、看護理論および医療場面における子どもの人権について学び、小児と家族をケアの対象として捉える上で必要な基礎知識を修得する。さらに、それらを基に小児と家族の健康問題や障害を持つ子どもと家族のもてる力を最大限に引き出す支援方法について探求する。</p>
授業概要	<p>指定図書をもとに理論や概念について報告し、国内外の優れた文献を用いて小児看護への臨床活用のあり方や課題について検討し、小児看護の対象となる小児と家族の健康問題や障害を持つ子どもと家族のもてる力を最大限に引き出す支援方法について探求する。</p>
授業計画	<p>第1回 コースガイダンス 小児看護における子どもの理解と子ども観の歴史的変遷</p> <p>第2回 小児看護学領域で用いられる理論1～愛着理論</p> <p>第3回 小児看護学領域で用いられる理論2～認知発達理論</p> <p>第4回 小児看護学領域で用いられる理論3～自我発達理論</p> <p>第5回 小児看護学領域で用いられる理論4～セルフケア理論・家族発達理論</p> <p>第6回 小児看護学領域で用いられる理論5～家族機能・家族役割理論・家族システム理論</p> <p>第7回 小児看護学領域で用いられる理論6～ライフスキル理論</p> <p>第8回 理論についての総括</p> <p>第9回 子どもの権利について</p> <p>第10回 医療場面における子どもの人権</p> <p>第11回 先天異常・先天性疾患と小児看護の動向</p> <p>第12回 急性期疾患と小児看護の動向</p> <p>第13回 慢性期疾患と小児看護の動向</p> <p>第14回 医療的依存度の高い子どもと家族に関連した小児看護の動向</p> <p>第15回 まとめ</p>

教材 参考文献等	講義の中で適宜提示・紹介する
成績評価 基準・方法	プレゼンテーション (50%)、レポート (50%)
履修要件	なし
関連科目	なし
留意事項 その他	テーマに沿った研究論文などを検索・学習して講義に参加し、主体的に発表・討議に臨んで下さい。